

# 謹賀新年

## 教育委員会より



### 肝付町教育委員会 教育長

上久保 秀樹

謹んで初春のお慶びを申し上げます。町民の皆様方におかれましては日頃より教育・文化・スポーツの振興に一方ならぬ御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けつつも、様々な事業を実施することができました。

まず、教育においては、「内之浦小学校創立百五十周年記念式典」が十一月に内之浦銀河アリーナで盛大に開催されました。同様に、創立百五十周年を迎える高山小学校においても一月に記念式典の開催が予定されていますが、長い歴史の中で、両校がこれまで

行ってきた様々な教育活動に携わっていただいた多くの方々に改めて敬意を表します。

次に、文化においては、「肝付町総合文化祭」を三

年ぶりに開催することができました。当日は町内から「芸能発表の部」に十五の団体と「展示発表の部」に三十四の団体、広域文化祭の実施に換えて、垂水市文化協会と串良町文化協会から三つの団体が参加くださり、二日間の日程を無事に終えることができました。

さらに、スポーツにおいては、爽やかな秋晴れの下、開催した「体力づくりグラウンドゴルフ大会」に町内から四十八チームの参加が

ありました。私ごとですが、当日は、スポーツ推進委員や地域の皆さんの温かい御指導の下、人生初のグラウンドゴルフを経験させていただきました。ありがとうございました。

一方で、文化財においては、現在、国や県の指導を仰ぎながら、必要な措置を講じているところですが、町内にも多くの被害をもたらした台風十四号により、国指定天然記念物である「塚崎のクス」の枝が折れたことは、関係者のみならず、地域の皆様にも激震が走ったことと思います。

一昨年同様、教育行政は地域の皆様の御理解と御協力なしに成り立たないことを実感する一年でした。

令和三年四月に文部科学省から地方出向として教育長に就任し、二度目の新年を肝付町で迎えます。小職にとって令和五年度は三年間の教育長の任期並びに出向期間を締めくくる最後の一年となります。町民の皆様から肝付町の教育・文化・スポーツの振興の一翼を担ったと将来言っていただけに、引き続き、職務に邁進する所存ですので、今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。